

# 東環協ニュース

発行 ● 東京都環境計量協議会

〒110-0016 東京都台東区台東 1 - 14 - 11  
ヒロエンジニアリング(株)内  
TEL (03) 5812-4111  
FAX (03) 3833-6674  
MAIL [toukankyo@car.ocn.ne.jp](mailto:toukankyo@car.ocn.ne.jp)  
URL <http://www.toukankyo.org>

○ 災害時における石綿モニタリング調査報告

○ 「都民計量のひろば」報告

○ 島津製作所研究所見学会報告

○ 2025 年度 臨時総会報告

○ 2025 年度 技術研修会報告

○ 2026 年 新春賀詞交歓会報告

「新年のご挨拶」

・東京都環境計量協議会	会長	平賀	積善
・東京都環境局環境改善部	部長	丹野	紀子様
・東京都生活文化スポーツ局計量検定所	所長	戸澤	互様

○ 2025 年度 環境計量証明事業団体合同研修会報告

○ 受賞のお知らせ

○ 関係機関・団体の動き

- ・首都圏環境計量協議会連絡会
- ・(一社)神奈川県環境計量協議会
- ・(一社)埼玉県環境計量協議会
- ・千葉県環境計量協会
- ・(一社)日本環境測定分析協会

○ 東環協からのお知らせ

- ・2026 年度 主要行事予定
- ・事務局からのお知らせ

## 災害時における石綿モニタリング調査報告

東京都環境計量協議会は、2020年9月10日付で東京都との間で「災害時における石綿モニタリング調査に関する協定」を締結しています。

今回は、10月15日(水)に東京都環境局の主催により「令和7年度 災害時アスベストばく露・飛散防止研修会」が開催されましたので報告いたします。最初に本協定についての解説を東京都環境局より講義いただきました。続いて(一社)建築物石綿含有建材調査者協会の外山氏より「アスベストの露出状況調査について」の講義、東環協を代表して石綿モニタリングネットワーク機関の(株)環境管理センター塩野氏より「環境モニタリングについて」の講義が行われました。その後昼休憩をはさんで(一社)福島県環境測定・放射能計測協会の片寄氏より「東日本大地震発生時における福島県の初動対応の経験」と題し、東日本大地震発生直後からの対応について国や自治体の対応を中心に実施された内容やその後の反省点など大変貴重な講演をしていただきました。

東京都内、都下の自治体からの参加者は、26名(22自治体)でした。

### 令和7年度 災害時アスベストばく露・飛散防止研修会

開催日時：2025年10月15日(水)10:00～14:10

開催場所：都庁第一本庁舎5階 大会議場

開催方法：会場参加及びオンライン(Zoom ウェビナー)の併用

プログラム：

1 開会

2 講義

・座学(現地及びオンライン)

(1) 災害時における飛散防止マニュアル及び災害時のアスベスト対策に係る協定について  
10:00～10:30

講師：東京都環境局

(2) アスベストの露出状況調査について  
10:30～11:15

講師：(一社)建築物石綿含有建材調査者協会 副代表理事 外山 尚紀氏

(3) 環境モニタリングについて  
11:25～12:10

講師：東京都環境計量協議会 会員企業

株式会社環境管理センター

ソリューション事業部環境政策部環境対策2グループ 塩野 拓海氏

(4) 東日本大地震発生時における福島県の初動対応の経験  
13:10～14:10

講師：(一社)福島県環境測定・放射能計測協会 片寄 久巳氏

3 閉会

# 「都民計量のひろば」報告

東京都では、都民の方々に楽しみながら計量制度への理解を深めてもらうことを目的として、毎年11月1日の計量記念日に「都民計量のひろば」を開催しています。特に今年は近代計量制度がはじまって150周年の記念の年となり、例年よりたくさんのイベントを用意しました。

テーマ：メインテーマ「くらしと計量」

サブテーマ：「計量150周年！みんなで計量を見てみよう！」

開催日時：2025年11月1日（土）9:30～16:00

開催場所：東京都計量検定所（江東区新砂3-3-41）

主催：都民計量のひろば実行委員会〔構成団体 東京都計量検定所、  
（一社）東京都計量協会、東京都環境計量協議会、他計18団体〕

当日はクイズ&トークショー、パペットソングショー、ジャグリングなどイベントが盛りだくさんでした。当協議会のブースでは、環境と計量のコーナーに「計量証明と計量証明事業者制度」「環境と計量について」「微小粒状物質（PM2.5）」などのコンテンツを掲載させていただきました。

どのブースも多くの来場者で賑わいをみせ、盛況のうちに幕を閉じました。



2025年都民計量のひろばチラシ



展示風景とスタッフ一同

## 島津製作所研究所見学会報告

開催日時：2025年12月10日（水） 14：00～19：00

開催場所：Shimadzu Tokyo Innovation Plaza 4F メインホール

今年度の見学会は当協議会の賛助会員である株式会社島津製作所様にご協力いただき Shimadzu Tokyo Innovation Plaza (STIP) にて開催されました。本施設はライフサイエンス・環境分野の新産業を創出するオープンイノベーション拠点であるキングスカイフロントに位置しています。今回は15社25名の会員の皆様の参加がありました。

まず始めにSTIPセンター長の平岡敬朗様より「未来」をキーワードに会社紹介と拠点コンセプトについて説明をいただきました。

その後グループに分かれてラボツアーを実施いただきました。ラボツアーでは環境測定分野に限らず各種最先端の装置や商談・セミナースペース、会社の来歴、社外協業事例などについて説明いただきました。

ラボツアー終了後、以下の装置の最新情報についてそれぞれ講演をいただきました。

GC-MSについて 講演者：内山 新士 様

LC-MSについて 講演者：服部 考成 様

ICP-MSについて 講演者：堀 貴翔 様

講演では昨今注目の技術であるAI技術を活用したクロマトグラムの波形処理ソフトウェア Peakintelligence™ (LC, LC-MS, GC-MS に対応) についても言及があり、質疑応答の場においても参加者より同技術についての質問が出されていました。

講演終了後はメインホールに隣接するラウンジに場所を移し、交流会が開催されました。この場では島津製作所様と食品会社とのコラボビールや、京都の地元産業と作り上げたオリジナル日本酒の試飲会を実施いただきました。

島津製作所様、この度は御多忙のところ本イベントへの協力をいただき誠にありがとうございました。



## 2025年度 臨時総会報告

2026年1月14日(火)に2025年度臨時総会を開催しました。

開催日時：2026年1月14日(火) 15:30～15:45

開催場所：アルカディア市ヶ谷 5階「大雪(西)」

会長の挨拶の後、木村副会長より協議会の財政状況の説明に続き、2026年度より会費を現行の50,000円から70,000円に値上げする旨の提案が行われました。

質疑の後、決議が行われ委任状を合わせて過半数の賛成により会費の値上げが承認されました。

東環協は今後も会員企業の皆様の事業の発展のために業界団体として尽力してまいりますので、今後とも皆様のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

東京都環境計量協議会  
2025年度 臨時総会  
議事録

日時：2026年1月14日(水) 15:30~15:45  
場所：アルカディア市ヶ谷 5階「大雪(西)」(東京都千代田区九段北4-2-25)

出席者：37社(うち、総会当日までに到着分の委任状 15社)

近野副会長が15時30分、正会員総数59社中37社の出席があり、会則第19条により総会が成立することを宣言した。

総会を開催するに当たり、最初に平賀会長が挨拶を行った。

会則第22条に従い、会長が議長となったが、議事に入る前に会長は議事録署名人として、(株)日新環境調査センター 森山 勝哉氏と(株)日本総合科学 大野 寿実氏を指名し、両氏はこれを承諾した。

議事

1. 議案「年会費改定の件」について

木村副会長が、年会費の改定について議案内容を説明した。


木村副会長は、年会費については平成3年4月より据え置きとなっているが、特にコロナ禍以降の会場使用料、印刷代等の上昇が著しく運営経費の上昇を招いている他、関係団体との交流の増加など現状の運営費では、協議会を維持することは厳しくなっている旨の説明を行った。

議案として、年会費¥50,000-を2026年度より年会費を¥70,000-とさせていただきたく審議をお願いしたところ、反対票0票、賛成票37票(委任状15社は議長に一任)、棄権票0票で、審議した結果、異議無く承認された。

以上で2025年度 臨時総会の議事が終了し、15時45分、近野副会長の閉会の言葉で閉会した。

以上  
議長 平賀 積善 

議事録署名人 大野 寿実 

議事録署名人 森山 勝哉 

## 東京都環境計量協議会 2025年度 臨時総会 出席者名簿

2026年1月14日 15時30分より

於 アルカディア市ヶ谷 5階「大雪（西）」

No.	会社名	出席者名	備考
1	1	いであ(株)	
2	2	(株)エオネックス	
3	3	(株)オオスミ	
4	5	(株)環境管理センター	
5	6	(株)環境技術研究所	
6	7	(株)環境総合リサーチ	
7	8	環境リサーチ(株)	
8	9	シグマジオテック(株)	
9	10	(株)総合環境分析 東京技術センター	
10	11	ダイヤアクアソリューションズ(株)	
11	12	帝人エコ・サイエンス(株)	
12	13	(一財)東海技術センター	
13	14	(株)日新環境調査センター	
14	15	(株)日本シーシーエル	
15	16	(株)日本総合科学	
16	17	日本物理探鉱(株)	
17	18	ヒロエンジニアリング(株)	
18	21	(一財)広島環境保健協会	
19	23	(株)分析センター	
20	25	ムラタ計測器サービス(株)	
21	26	ユーロフィン日本環境(株)	

※総会開始時点における出席社

正会員 21社 26名

### 委任状（総会当日までに到着した分）

- ・エヌエス環境(株) ・(株)環境技研（板橋） ・(株)環境技研（杉並） ・(株)クレアラ
- ・クボタ環境エンジニアリング(株) ・三葉化工(株) ・新日本環境調査(株)
- ・成友興業(株) ・(株)デイラボ ・(株)長大 ・日本エコテック(株)
- ・日本環境アメニティ(株) ・日本環境分析センター(株) ・(株)むさしの計測
- ・ユーロフィンアグロ分析コンサルタント(株)

15社

## 2025年度 技術研修会報告

「2025年度 技術研修会」は新年の賀詞交歓会と同日の開催とさせていただきます東京都環境局環境改善部土壌地下水対策担当課長 矢野明子様をお招きしてご講演いただきました。

開催日時：2026年1月14日（水） 15：00～17：00

開催場所：アルカディア市ヶ谷 5階 「大雪（西）」

### 東環協 平賀会長の開会挨拶



平賀会長

皆様、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。本日はご多忙の中、東京都環境局および東京都計量検定所の皆様にお越しいただき、また会員の皆様にも多数お集まりいただき、誠にありがとうございます。

当協議会といたしましては、東京都の皆様との連携を非常に大切に考えております。昨年は大気に関するご講演をいただきましたが、やはり新年の始まりには東京都の皆様から直接「生の声」を聞かせていただくことが、我々の活動において不可欠であると確信しております。

本日、ご講演をいただきますのは、東京都環境局環境改善部で土壌地下水汚染対策を担当されている矢野課長です。矢野課長とは、東京都がどのような方向を目指し、どのような課題に直面しているのか、そして我々環境計量業界に何を求めているのかを「ザック balan」にお話しいただきたいと、以前より打ち合わせを重ねてまいりました。

また、来月2月13日には首都圏環協連の研修会が予定されており、そこでは東京都計量検定所の戸澤所長にもご講演をいただくことになっております。このように東京都の各部署と密に連携し、行政が直面している課題を共有することで、我々がどのように社会に貢献し、恩返しができるかを考えていくことが重要です。

当協議会には、賛助会員を含め、多様な強みを持った企業が揃っております。本日の講演を拝聴する際、単に情報を得るだけでなく、「自社の強みと他社の強みを組み合わせれば、東京都の施策を推進するためにこんなことができるのではないか」という視点を持って聞いていただければ幸いです。

皆様の知恵を結集し、より良い社会を作るための有意義な研修会となることを願ひまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

## 講演 東京都の土壤汚染対策について

東京都環境局環境改善部  
土壤地下水対策担当課長 矢野 明子様



矢野課長

今回は「東京都の土壤汚染対策について」というテーマで、東京都の土壤汚染対策の現状と今後の方向性を共有し、行政と環境計量業界の連携強化を目的として、制度の考え方から実務上の課題、将来展望まで幅広い内容で講演頂きました。

東京都では、土壤汚染対策法と環境確保条例を併用し、それぞれの制度の特性を踏まえた一体的な運用を行っています。土壤汚染対策法が主として顕在化した人の健康リスクへの対応を目的としているのに対し、環境確保条例では、将来リスクや地下水環境の保全を含めた予防的な観点を重視しており、両制度を組み合わせることで、

より包括的な土壤汚染対策を実現しています。

制度運用においては、調査命令や届出の判断に際し、土地の来歴、過去の使用物質、地歴調査結果、土壤および地下水調査結果、対策工事の内容など、多岐にわたる情報を総合的に評価する必要があることが示されました。これらの情報は、単純な基準値や数値のみで判断できるものではなく、現場条件やリスク特性を踏まえた専門的な検討が不可欠であり、また、調査密度やサンプリング深度等の基準については、科学的妥当性に加え、実務上の合理性を考慮した運用が行われています。

さらに、東京都が推進する「持続可能な土壤汚染対策」について言及がありました。従来型の大量掘削・場外搬出を前提とした対策は、環境負荷や経済的負担の観点から課題が指摘されており、将来にわたり継続可能とは言い難いです。このため、東京都では、環境・経済・社会の調和を図る観点から、「土の3R (Reduce、Reuse、Remediation)」の考え方に基づく対策を推進しています。汚染土壤の場外搬出量および清浄土の搬入量の削減、汚染土壤の場内有効利用、原位置浄化技術の活用等を促進するため、ガイドライン整備や支援制度の取組が進められています。

加えて、届出手続の効率化および情報の高度利用を目的としたデジタルトランスフォーメーションの取組や、自然由来重金属の分布把握、地下水調査時における汚染拡散リスク低減に関する調査研究についても紹介されました。一方で、土壤汚染対策分野における専門人材の不足や技術継承の課題が顕在化しており、今後の対策を持続的に推進していくためには、環境計量業界をはじめとする関係機関との連携および人材育成への協力が不可欠であるとまとめられました。

司会の藤田理事より閉会の辞が述べられ、本研修会は盛況のうちに終了しました。  
貴重なご講演ありがとうございました。

## 2025年度 技術研修会 参加者

東京都環境計量協議会

2026年1月14日

於 アルカディア市ヶ谷 5階 「大雪(西)」

### 技術研修会

講演： 「東京都の土壌汚染対策について」

講師： 東京都環境局環境改善部土壌地下水対策担当課長 矢野 明子 様

### 来 賓

東京都環境局環境改善部環境改善技術担当部長 丹野 紀子 様

東京都環境局環境改善部大気保全課 課 長 名取 雄太 様

東京都生活文化スポーツ局計量検定所 所 長 戸澤 亙 様

### 会 員

No	会社名	氏名	備考
1	2	いであ (株)	
2	3	(株) エオネックス	
3	4	(株) オオスミ	
4	9	(株) 環境管理センター	
5	10	(株) 環境技術研究所	
6	11	(株) 環境総合リサーチ	
7	12	環境リサーチ (株)	
8	13	シグマジオテック (株)	
9	14	(株) 島津テクノリサーチ	
10	15	(株) 総合環境分析	
11	16	ダイヤアクアソリューションズ (株)	
12	18	帝人エコ・サイエンス (株)	
13	21	(株) デイラボ	
14	22	(一社) 東海技術センター	
15	23	(株) 日新環境調査センター	
16	24	日本エコテック (株)	
17	25	日本環境分析センター (株)	
18	27	(株) 日本シーシーエル	
19	28	(株) 日本総合科学	
20	29	日本物理探鑛 (株)	
21	30	ヒロエンジニアリング (株)	

22	33	(一財) 広島県環境保健協会		
23	56	(株) 分析センター		
24	37	ムラタ計測器サービス (株)		
25	39	ユーロフィン日本環境 (株)		
26	40	(株) 片山化学工業研究所		賛助
27	42	輝達商事 (株)		賛助
28	44	ビーエルテック (株)		賛助
29	45	(一社) 日本環境測定分析協会		一般参加

29社 45名

講師		1	名
来賓		3	名
会員等	29社	45	名
	合計	49	名

## 2026年 新春賀詞交歓会報告

2026年 新春賀詞交歓会は来賓4名、協賛企業4社、会員企業30社59名と多くの方に参加いただき盛況に開催されました。

今回は来賓として東京都環境局環境改善部環境改善技術担当部長 丹野 紀子様、同 大気保全課長 名取 雄太様、同 土壌地下水対策担当課長 矢野 明子様、東京都生活文化スポーツ局計量検定所 所長 戸澤 互様に来賓としてご臨席いただきました。

開催日時：2026年1月14日（水）17：00～

開催場所：アルカディア市ヶ谷 4階 「鳳凰」

初めに当協議会の平賀会長より開会宣言があり、その後、丹野担当部長、戸澤所長からそれぞれ新年のご挨拶を頂戴しました。続いて、(一社)日本環境測定分析協会の吉田事務局次長、東環協の野田理事の両名によるショートコントとご発声で、賀詞交歓会が始まりました。

食事・お酒も進み、会場が程よく和んだ頃合いで例年通りビンゴ大会を開催しました。ゲームが始まると、番号が読み上げられるたびに歓声やため息があがり、ビンゴが成立した瞬間には大きな拍手が送られました。景品も多彩に用意されており、最後まで緊張感と期待感のある展開となりました。

楽しい時間となりました賀詞交歓会もいよいよお開きの時間となり、日本コントロールシステム 田中様と平賀会長によるショートコントと田中様の閉会の挨拶が行われお開きとなりました。普段あまり話す機会のない参加者同士の交流も生まれ、終始笑顔の絶えない賀詞交歓会となりました。

ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。



## 『新年挨拶』

東京都環境計量協議会  
会長 平賀 積善



平賀会長

皆様、あけましておめでとうございます。東京都環境計量協議会会長の平賀でございます。

本日はご多忙の折、ご来賓の皆様をはじめ、会員、賛助会員の皆様にこのように多数お集まりいただき、誠にありがとうございます。また、先ほど行われました技術研修会では、東京都環境局の矢野課長より土壌汚染対策についての貴重なご講演をいただきました。東京都の「生の声」を聞くことができたことは、皆様の今後の業務推進において大変参考になったことと存じます。

さて、昨今の社会情勢を顧みますと、円安の問題やアメリカの新政権発足など、我々を取り巻く環境は決して盤石なものではございません。しかし、当協議会といたしましては、昨年から取り組んでまいりました情報提供の活動から一步進み、その情報を生かして「外へ外へと向かう強い協議会」を作っていくべきだと考えております。

特に大きな課題として、技術者の不足がございます。これは東京都の担当者様とも課題として共有しており、協議会としてどのようにアプローチできるかを真剣に考えていかなければなりません。当協議会には異業種の会員も多く、それぞれの視点を生かすことで、業界の中に新しいものを生み出せると確信しております。本年は、理事だけでなく会員の皆様からも広く知恵をいただき、エネルギー全開で取り組んでまいる所存です。

ところで、本日1月14日は、あの南極観測隊の「タロとジロ」の日だそうです。この物語には「愛と勇気と希望」というサブタイトルがついているとのことですが、これはまさに今の私たちにふさわしい言葉ではないでしょうか。皆様の勇気ある行動と、これからの業界への希望に期待しております。

最後になりますが、本年も東京都環境計量協議会への変わらぬご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

## 『新年挨拶』

東京都環境局環境改善部  
担当部長 丹野 紀子様



丹野部長

新年あけましておめでとうございます。

ただいまご紹介いただきました東京都環境局 環境改善技術担当部長の丹野でございます。

本日は環境改善部長の中島の代理で参りました。

東京都環境計量協議会の賀詞交歓会にお招きいただき、誠にありがとうございます。

また、日頃より東京都の環境行政に対しまして、貴協議会並びに会員の皆様には多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、昨年10月の台風災害では、八丈島および青ヶ島において記録的な大雨と猛烈な風により甚大な被害が発生いたしました。

この災害対応に際し、東京都ではアスベストのばく露や飛散防止のため、これまで整備してきました体制を活用し、迅速にアスベスト対策を講じて参りました。

その一環として今回、貴協議会と締結している協定を初めて発動し、八丈島において迅速にアスベストの環境モニタリングを実施することができました。

これまでの調査では、問題となる状況は確認されておらず、被災地の方々に安心していただける情報を提供できております。このような対応ができたのは、貴協議会の迅速かつ的確なご協力のお陰でございます。改めて深く感謝申し上げます。

今後も、首都直下型地震など更なる大規模災害への備えが重要となります。今回の対応を踏まえ、関係者の皆様と連携し、万全な体制の構築に努めて参りたいと考えております。引き続きのご協力を賜れましたら、幸いです。

また、先ほどの技術研修会の中で矢野からお話をさせていただきました土壤汚染対策につきましても、東京都は様々な取組を実施しております。具体的には、工場跡地等における持続可能な土壤汚染対策支援事業、土壤汚染情報のデジタル化、土壤地下水の実態把握調査など、精力的に実施しております。

これらの取組におきましては、信頼性の高い測定・分析技術が不可欠でございます。貴協議会並びに会員の皆様におかれましては、引き続き、都の環境行政にご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

なお、東京都ではPFASに対しまして、地下水等の環境中のモニタリングをきめ細かく実施しております。その際、会員の皆様には測定で大変お世話になっております。今後もこの取組は継続して実施いたしますので、引き続き、よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、貴協議会及び会員の皆様の益々のご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 『新年挨拶』

東京都生活文化スポーツ局計量検定所  
所長 戸澤 互様



戸澤所長

皆様、新年あけましておめでとうございます。

ただいまご紹介にあずかりました、東京都計量検定所の戸澤でございます。本日は、東京都環境計量協議会の皆様の賀詞交歓会にお招きいただき、誠にありがとうございます。また、日頃より計量行政に対し多大なるご協力を賜り、皆様が環境計量を通じて社会に貢献されていることに、改めて深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、計量行政におきましては「度量衡取締条例」および「メートル条約」から 150 周年という記念すべき年でした。計量検定所ではこれを記念し、「都民計量のひろば」において、若年層をターゲットとした特別な催しを実施いたしました。QuizKnock (クイズノック) の鶴崎さんやヘブンアーティストの方々を招いたイベントを通じ、若い世代にも「計量思想」を浸透させることができたと自負しております。

また、昨年の世相を映す文字として「熊」が選ばれ、観光業への影響なども話題となりましたが、流行語大賞には「働いて、働いて、働いて」という言葉が選ばれ、一年を象徴する出来事となりました。私個人の関心事といたしましては、昨年公開された映画『国宝』が非常に印象に残っております。主演の吉沢亮さんと横浜流星さんの圧倒的な演技力、そして全く異なる世界から歌舞伎の世界に入り苦勞された片岡愛之助さんのエピソードなどは、お互いに切磋琢磨しながら活躍していく姿を描いており、非常に感銘を受けました。

そして本年、2026 年を迎え、私たちが向き合うべき大きなキーワードは「AI」であると感じております。最近では挨拶原稿を AI に任せる方も増えているほど、AI はコミュニケーションや人生相談の領域にまで進化を遂げています。計量や環境の分野においても、こうした AI や新たな技術との付き合い方を真剣に考えていく時代になったと言えるでしょう。

最後になりますが、来月 2 月 13 日には、首都圏環協連の研修会において私も講演をさせていただく予定でございます。皆様とともに、この業界が直面する課題や未来について、引き続き知恵を絞ってまいりたいと考えております。

結びに、本日お集まりの皆様のご健康とご多幸を心より祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



乾杯挨拶



新規賛助会員 片山化学工業研究所様



歓談風景①



歓談風景②



賛助会員の皆様



閉会の挨拶

**2026年 東京都環境計量協議会 賀詞交歓会出席者名簿**

東京都環境計量協議会

2026年1月14日（水）

於 アルカディア市ヶ谷 4階 「鳳凰」

**来 賓**

東京都環境局環境改善部環境改善技術担当部長		丹野 紀子 様
東京都環境局環境改善部大気保全課	課 長	名取 雄太 様
東京都環境局環境改善部土壌地下水対策担当課長		矢野 明子 様
東京都生活文化スポーツ局計量検定所	所 長	戸澤 亙 様

**会 員**

No		会 社 名	氏 名	備 考
1	2	いであ（株）		
2	4	（株）エオネックス		
3	5	（株）オオスミ		
4	10	（株）環境管理センター		
5	11	（株）環境技術研究所		
6	12	（株）環境総合リサーチ		
7	13	環境リサーチ（株）		
8	14	（株）クリアテラ		
9	15	シグマジオテック（株）		
10	16	（株）島津テクノリサーチ		
11	17	（株）総合環境分析		
12	18	帝人エコ・サイエンス（株）		
13	21	（株）デイラボ		
14	22	（一社）東海技術センター		
15	23	（株）日新環境調査センター		
16	24	日本エコテック（株）		
17	26	日本環境分析センター（株）		
18	28	（株）日本シーシーエル		
19	29	（株）日本総合科学		
21	33	ヒロエンジニアリング（株）		
21	36	（一財）広島県環境保健協会		
22	38	（株）分析センター		
23	40	ムラタ計測器サービス（株）		

24	45	ユーロフィン日本環境 (株)		
25	46	(株) 片山化学工業研究所		賛助
26	48	関東化学 (株)		賛助
27	50	輝達商事 (株)		賛助
28	52	日本コントロールシステム (株)		賛助
29	54	ビーエルテック (株)		賛助
30	55	(一社)日本環境測定分析協会		一般

30社 55名

来賓		4	名
会員等	30社	55	名
	合計	59	名

## 2025 年度 首都圏環境計量協議会連絡会合同研修会報告

首都圏環境計量協議会連絡会（首都圏環協連）主催の 2025 年度環境計量証明事業団体合同研修会を東環協が幹事県として実施しました。

今回は、プログラムを 2 部制で構成しました。まずは第 1 部として「計量法における実施体制」と題し、計量行政の事業状況をご講演いただきました。続いて第 2 部として参加組織の近況報告ののちに、業界が測定分析の品質を維持・向上させていくために「日環協にどのような要望をしていくか」「入札参加要件にどのような条件を付すべきか」をテーマに研修会に出席された方々によるフリートークを行いました。

### 1. スケジュール

- 1) 日 時 2026 年 2 月 13 日(金) 14:00～17:00
- 2) 場 所 TKP 東京駅カンファレンスセンター カンファレンスルーム 2 A

### 2. プログラム

#### 第 1 部 「計量法における実施体制」

東京都生活文化スポーツ局 東京都計量検定所 所長 戸澤 互 様

#### 第 2 部 フリートーク

参加組織による近況活動報告、および事前に意見募集した内容をもとに、「日環協にどのような要望をしていくか」、「入札参加要件にどのような条件を付すべきか」について、参加者の皆さんから発言をいただきました。

精度管理や人材確保、取引条件の適正化などについて、全国各地から参加の皆様から様々なご意見が得られ、活発な議論が繰り広げられました。

この議論の内容を整理し、後日、首都圏環協連として日環協に要望書を提出する予定です。



会場風景

### 3. 参加者数等

研修会 34 名参加、情報交換会 30 名参加

#### ・首都圏環協連

一般社団法人 埼玉県環境計量協議会	4 名
一般社団法人 神奈川県環境計量協議会	5 名
横浜市環境技術協議会	1 名 (兼任)
千葉県環境計量協会	3 名
東京都環境計量協議会	9 名

#### ・参加県単

北海道環境計量証明事業協議会	1 名
一般社団法人 福島県環境測定・放射能計測協会	1 名
一般社団法人 愛知県環境測定分析協会	1 名
大阪環境測定分析事業者協会	2 名
広島県環境計量証明事業協会	3 名
一般社団法人福岡県環境計量証明事業協会	1 名

#### ・行政

埼玉県産業労働部計量検定所	齋田 吉裕様
東京都生活文化スポーツ局計量検定所	所長 戸澤 互様
	課長 大塚 靖直様
神奈川県産業労働局計量検定所	次長 大羽 将之様

## 受賞のお知らせ

令和 7 年 10 月 1 日の東京都功労者表彰において産業振興功労として、株式会社環境管理センター上席技師長 豊口 敏之様が受賞されました。

豊口様は業界団体の理事を歴任され、また長年にわたり産業の発展に尽力された功績が認められての受賞となりました。

心よりお祝い申し上げます。



## 関係機関・団体の動き

2026年2月現在、既の実施または今後予定されている関係機関及び団体の動きは、以下のとおりです〔東環協ニュース第187号以降分〕。

- 首都圏環境計量協議会連絡会
  - ・2025年度第3回委員会 12月9日 ユーロフィン日本環境
  - ・県単合同研修会 2月13日 T K P 東京駅  
カンファレンスセンター
  - ・首都圏合同・新任者教育セミナー 6月2日 (詳細未定)
  
- (一社)神奈川県環境計量協議会
  - ・事例発表会 1月29日 横浜市金沢産業振興センター
  - ・2026年度通常総会 5月 (詳細未定)
  - ・50周年記念式典 5月22日 ロイヤルホールヨコハマ
  
- 千葉県環境計量協会
  - ・技術発表会＋技術者フォーラム 11月28日 千葉県経営者会館
  - ・新春講演会・賀詞交歓会 1月23日 ホテルプラザ菜の花
  - ・2026年度通常総会 4月24日 (詳細未定)
  
- (一社)埼玉県環境計量協議会
  - ・新春講演会・研究発表会 1月30日 西口カンファレンスセンター
  - ・2026年度通常総会 5月 (詳細未定)
  - ・50周年記念式典 7月24日 THE MARK GRAND HOTEL  
3階 SAKURA HALL
  
- (一社)日本環境測定分析協会
  - ・2026年度通常社員総会 5月26日 タワーホール船堀





# PFAS分析用 関連試薬・機材

Related products and equipment for PFAS analysis



Water Supply Act



Environmental Water



PFAS in Soil



Food Sanitation Act



PFAS in Food



PFAS in Blood

## 標準液 (CRM)

- 標準品・標準液・内部標準液
- 混合標準液・混合内部標準液

## メソッド対応 混合標準液

- 水道水・環境水対応
- ISO21675
- EPA method 533
- EPA method 537.1
- EPA method 1633
- 欧州飲料水指令
- FDA

## 固相抽出

- アジレント社 固相抽出カラム
- 自動固相抽出装置 SPE-O3



## 試料採取



## 前処理



## 分析



## 関連機材

- 分析用カラム
- フィルター類
- PFCフリーバイアル
- クイック気密保存びん



## 関連試薬

- PFAS試験用 メタノール
- 1 mol/L 酢酸アンモニウム
- LC/MS溶媒  
(アセトニトリル -Plus-)  
(蒸留水 -Plus-)  
(メタノール -Plus-)

※ ブランク中のPFOS、PFOA、PFHxSを保証



## 高圧ガス工業の標準ガス

高圧ガス工業は環境測定のお手伝いに徹し貢献していきます  
標準ガスは、様々な用途で使用されています。大気測定から煙筒、排気ガス、医療現場と幅広いユーザー様に支持を受けています

# Standard Gas

### ◆ラインナップ

- ・ JCSS標準ガス 1級、2級、零位
- ・ 一般標準ガス
- ・ 医療機器校正用標準ガス

### ◆容器 / 充填圧力

- ・ 容器種類：3.4L 10L 47L マンガン容器
- ・ 口 金：W22×14山 右・左
- ・ 充填圧力：14.7 MPa max
- ・ 脱着キャップ、ハンドルバルブ



# High Purity Gas

### ◆ラインナップ

- ・高純度アルゴン UP1 99.9999 % UP3 99.999 %
- ・高純度窒素 UP1 99.99995 % UP3 99.9995 %
- ・高純度水素 UP1 99.99999 % UP2 99.9999 %

### ◆容器 / 充填圧力

- ・ 容器種類：3.4L 10L 47L マンガン容器
- ・ 口 金：W22×14山 右・左
- ・ 充填圧力：14.7 MPa max
- ・ 脱着キャップ、ハンドルバルブ

# Pressure Regulator

### ◆特長

・理化学機器に特化した、高品位の圧力調整器で、ガスを安定した圧力と流量で供給できるよう設計されています

### ◆スペック

- ・HP-1 : 1段減圧 供給圧 0=0.9 MPa
- ・HP-2 : 2段減圧 供給圧 0=0.9 MPa
- ・Bs/ステンレス製



**高圧ガス工業株式会社**

ガス開発部 特殊ガス課

<http://www.koatsugas.co.jp>

東京事務所 東京都千代田区内幸町1丁目2番1号 日土地内幸町ビル9階 TEL 03-3595-3122  
滋賀高圧ガス流通センター 滋賀県東近江市五個荘川並368番地 TEL 0748-48-5933

全自動固相抽出装置

# アクアトレース ASPE899



コンディショニング

試料通水

洗浄

脱水・乾燥

溶出

濃縮

アクアトレースは、これらの工程をすべて自動化することができます。

## PEAS 分析用固相カラム

**InertSep WAX EF**

逆相 +弱アニオン交換カラム



**InertSep MA-2**

弱アニオン交換カラム



# 中古分析機器 買取ネットワーク

処分にお困りの分析機器

## 高価買取

クロマト分析装置

Chromatographic analyzer

光分析装置

Spectrometer analyzer

電子顕微鏡

Electronic microscope

バイオ関連分析装置

Bio related analyzer

 輝達商事株式会社

TERUTATSU SHOUJI CORPORATION

東京本社 〒113-0034 東京都文京区湯島2-6-2 SORAお茶の水マンション 1F TEL:03-5944-9968  
関西事業所 〒533-0022 大阪府大阪市東淀川区菅原6-14-20 船睦ビジネスハウス AA TEL:06-6459-9325

URL:<https://www.terutatsu.co.jp>

高速イオンクロマトグラフ

# IC-8100



ION CHROMATOGRAPH  
**IC-8100**

先進のセパレーションテクノロジーを継承、  
さらに進化したニューコンセプトIC…  
ますますの快適さと信頼性をお届けします。

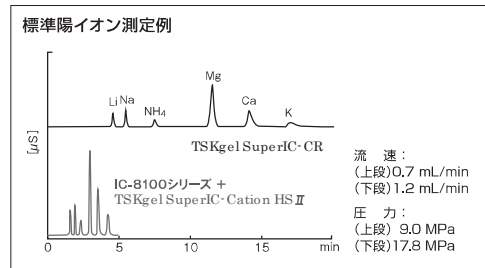
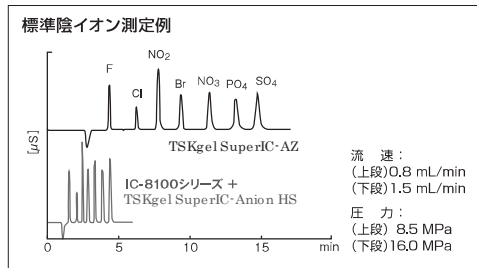
高速多検体

## 測定時間5分のハイスループット分析を実現

高速分離カラムとの組み合わせで、陰イオン・陽イオンの測定がそれぞれ5分で終了。測定時間を大幅に短縮できます。

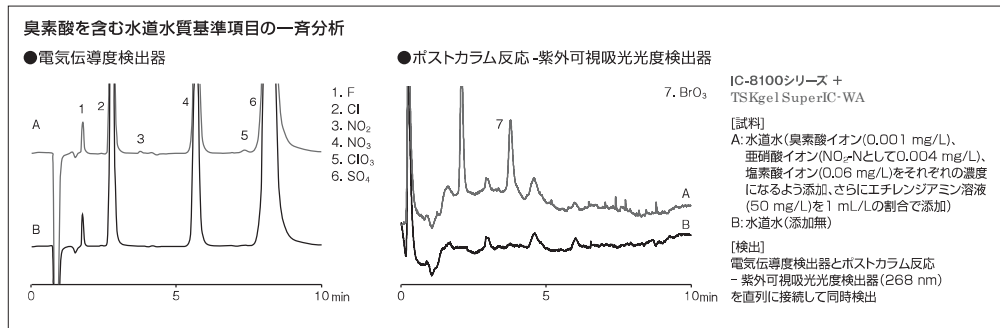
陰イオン測定時間16分から 5分へ短縮(当社比)

陽イオン測定時間20分から 5分へ短縮(当社比)



## 測定時間10分で臭素酸を含む水道水質基準項目の分析を実現

水道水質分析用の高速高分離カラムと、高感度ポストカラム反応システムを用いる事で、臭素酸を含む水道水質基準項目が10分以内で測定できます。従来、複数の条件で行なわれていた分析を一度の測定で行うことが可能です。



※ "IC-8100" は日本における東ソー株式会社の登録ロゴです。



東ソー株式会社  
バイオサイエンス事業部

東京 本 社 営 業 部 ☎(03)6636-3733 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-2-1  
大阪 支 店 バイオサイエンスG ☎(06)6209-1948 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-4-9  
名古屋 支 店 バイオサイエンスG ☎(052)211-5730 〒460-0008 名古屋市中区栄1-2-7  
福岡 支 店 ☎(092)710-6694 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-8-10  
仙台 支 店 ☎(022)266-2341 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-1  
カスタマーサポートセンター ☎(0467)76-5384 〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川2743-1  
バイオサイエンス事業部ホームページ <https://www.separations.asia.tosohbioscience.com/>

ふっ素・シアン・フェノール・アンモニア

## 小型蒸留装置DS-5100

- JI2025年4月1日より環境省告示へ適用  
公共用水域水質環境基準、地下水環境基準、土壌環境基準及び排水基準等
- 試薬と廃液量・蒸留時間が削減され、より効率的に多くの蒸留操作ができるようになりました。



従来の  
蒸留装置に  
比べて

蒸留の作業時間  
約1/2  
1/3

試薬の廃液量  
約1/7

設置スペース  
約1/5

## 燃焼イオンクロマトグラフ

### 自動試料燃焼装置AQF-5000H

- イオンクロマトグラフの検量線溶液自動調製機能および吸収液自動希釈機能を新たに追加しました
- PFAS・SAFのスクリーニング分析に最適
- 吸収液を自動で分取しイオンクロマトグラフ以外の分析手法への応用も可能なオプションもご用意

硫黄  
ハロゲン  
同時測定

吸収液の  
自動希釈  
機能

検量線  
溶液の  
自動調製



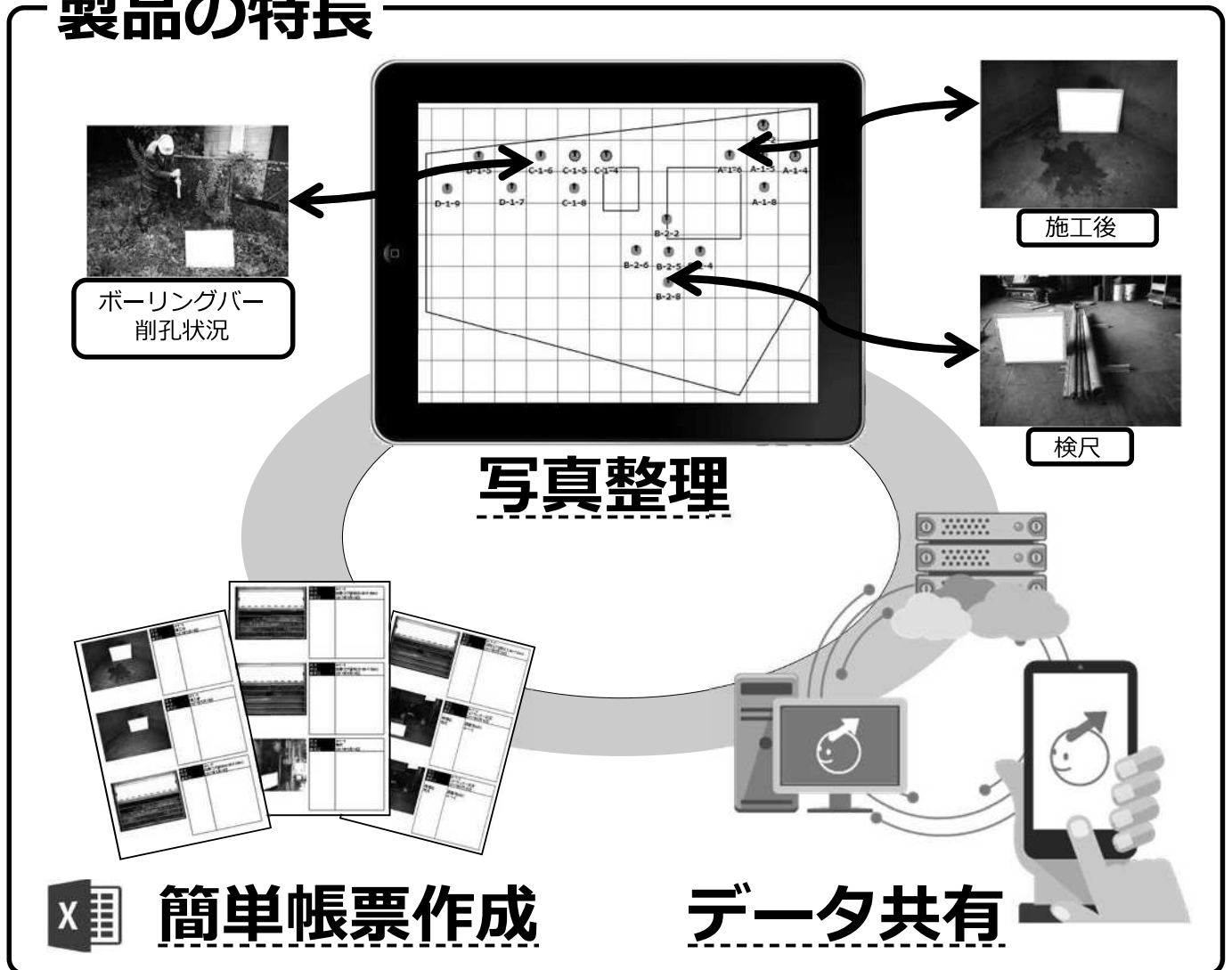
日東精工アナリティック株式会社

TEL:046-278-0036 FAX:046-278-0037

ホームページ

<https://www.n-analytech.co.jp/>

## 製品の特長



## タブレットを現場で活用すると…???

- ✔ 地歴調査の現地踏査写真整理業務、工数80%削減！
- ✔ 土壌汚染状況調査の写真整理業務、工数50%削減！
- ✔ 現場管理者が調査進捗状況をリアルタイムに確認可能！
- ✔ 作業員が試料採取済み箇所を瞬時に把握！

■採用実績(五十音順)

株式会社環境管理センター、帝人エコ・サイエンス株式会社、他



■製品のお問い合わせ

日本コントロールシステム(株)

<http://www.nippon-control-system.co.jp/>

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-18 三富ビル新館5F

TEL : 03-3443-5081 (ピクタム担当)

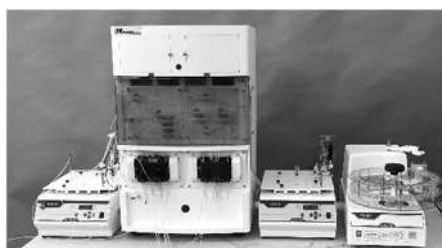
MAIL : [pictum@nippon-control-system.co.jp](mailto:pictum@nippon-control-system.co.jp)

# ビーエルテックの自動化学分析装置

## BLTEC 新型オートアナライザー 「MiSSion」

### ふっ素 シアン フェノール類 全窒素 全りん

- 1 新開発の光学系により測定レンジが広がりました。
- 2 原理は、気泡分節型連続流れ分析法 (CFA)で計量証明機関で多くの実績があります。
- 3 ふっ素、シアン、フェノール類の蒸留、発色操作も自動で行えます。
- 4 全窒素全りんのオートクレーブ分解、発色操作も自動で行えます。
- 5 自動洗浄装置装着時、オートスタート機能、自動プラテンリリースできます。
- 6 国内生産です。
- 7 JISK0102、環境省告示対応メソッドです。 1時間20検体測定ができます。



MiSSion-ふっ素シアン



MiSSion-全窒素全りん

### 全自動酸化分解前処理装置 DEENAシリーズ

#### 特長

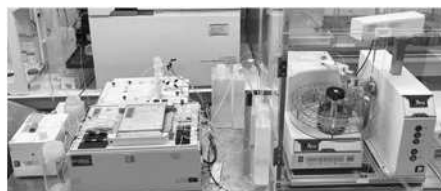
1. 試薬を自動で導入できます。
2. 自動で加熱をします。
3. 内部標準も入れられます (オプション)
4. メスアップも自動で行います。



DEENA60  
(50mlバイアル 60本掛け)

### 連続流れ分析法 (CFA法) を用いた、酸添加加熱分解装置AATM (アトム) 特長

1. 液体サンプルは、酸と混合、加熱しICP-MSへそのまま導入され測定されます。
2. 気泡分節のCFA法を利用した装置です。
3. 土壌汚染関連、排水、飲料水など全自動で測定できます。



ビーエルテック株式会社 <http://www.bl-tec.co.jp>

本 社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-25-7 江戸堀ヤタニビル2F  
TEL : 06-6445-2332 FAX : 06-6445-2437

東京本社 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 マツモトビル4F  
TEL:03-5847-0252 FAX : 03-5847-0255

九州支店 〒811-3311 福津市宮司浜1-16-10-101  
TEL:0940-52-7770 ※FAXは本社へ

カウントダウンはじまる!

希望販売価格※が  
最大 **20%**  
割引

# PFAS 対応 水道法改訂 Milli-Q® からできる応援キャンペーン

2026年4月法規制スタートに向けて!  
Milli-Q® で安心の水質管理を

キャンペーン期間

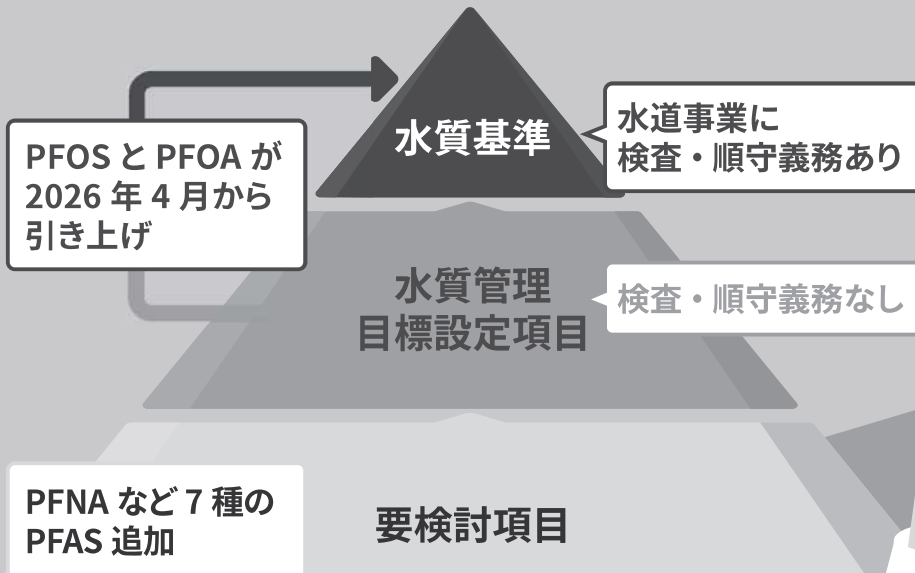
2025年9月1日～2026年3月31日

お見積り有効期限：2026年4月末

対象のお客様

PFAS 分析用に Milli-Q® 導入を検討されるお客様  
(水道事業所、受託分析を含む官公庁・企業・大学・研究機関を問わず)

PFAS 検査が義務化! 水道水の安全基準が新時代へ



厚生労働省では現在 PFAS 分析の手法を整備中ですが、WHO (世界保健機関) や米国環境保護庁 (EPA)、EU では LC-MS/MS による分析を推奨しています。

※ キャンペーン期間中に希望販売価格 (税別) が予告なく変更される場合があります。  
その際には、変更後の希望販売価格 (税別) へ割引率が適用されます。

The life science business of Merck operates as MilliporeSigma in the U.S. and Canada.

